

シルバー さくら



公益社団法人

佐倉市シルバー人材センター

〒285-0025 千葉県佐倉市錦木町198番地2

レインボープラザ佐倉 2F

電話：043-486-5482(代) FAX: 043-486-5419

メールアドレス

sakurassjc@sjc.ne.jp

ホームページ

<http://www.sakura-sjc.or.jp/>



左のQRコードを読み取ると、(公益社団法人)佐倉市シルバー人材センターのホームページが開きます。

令和2年9月1日 発行

第123号



佐倉市各所シリーズ

最後の佐倉藩主の邸宅 旧堀田邸 (重要文化財)

撮影 / 広報委員 秋元 正之

困難をチャンスに!

会長 田中 千俊

例年ならこの時期は、佐倉市民花火大会が開催され、「シルバーさくら」の表紙を会員が撮った花火の写真で飾り、翌日の清掃作業の記事が大きく掲載される事になっていました。今年も、新型コロナウイルスの影響を受け、花火大会も中止となり、寂しい夏となりました。

恒例の行事が中止となることで、当たり前前に開催していた頃が懐かしく目に浮かびます。

しかし、コロナ感染拡大の中ではありますが、幾多の困難を乗り越え、いまの豊かな生活を築いてきた国民性を考えれば、「困難を勝機」と捉え、新しい生活・新しい仕事の在り方に向かつて力強く進む事と信じています。

60歳を超えた私たち佐倉市シルバー人材センターの会員も多くの困難に突き当たり、その都度知恵を出し、工夫を重ね乗り切って今日を迎えています。

その精神と勇氣・我慢強さをまさに生かす「自己成長のチャンス」と捉え、新しい生活作りに取り組ましましょう。

当センターとしても「新しい就業の在り方」を模索しています。就業報告書のデジタル化もその一つです。さらに全会員の経験・知恵・工夫において取り組むことで明るい未来が開けると思っています。皆さんの知恵をお借りして、是非「困難をチャンスに!」したいと思っております。

「うつらない・うつさない」「3密を避ける」は、コロナ感染予防の基本です。

テレビ、新聞で新しい正確な情報を手し行動しましょう。フェイクニュースに惑わされないで、特殊詐欺にも気を付けて明るい生活を送りましょう。

佐倉市シルバー人材センター

訪問介護事業所 紹介

スマホの有効活用で、

ヘルパーの負担軽減に!!

来年、設立40周年を迎える佐倉市シルバー人材センターは、2014年4月に県内で唯一となる訪問介護事業所（レインボープラザ佐倉別館2F）を開設しました。この事業は、ヘルパーが直接ご利用者様のお宅を訪問するサービスですが、介護に関する書類の作成が煩雑でした。その為、本年3月よりスマートフォンを活用してのIT化に積極的に取り組み、現在はヘルパー全員がスマホを駆使し、事務の効率化とヘルパーの負担軽減を推進していますので、その内容を紹介します。

ITシステム「カナエルタッチ」の導入

この煩雑業務の効率化を図るため、スマートフォンアプリ「カナエルタッチ」の導入を積極的に推進し、開始わずか半年で、資格保有の65〜80歳の男女26名のヘルパー全員が難なく使いこなしています。この名称は、ヘルパーの希望を叶える（カナエル）タッチシステムに由来します。

〈作業の流れ〉

ヘルパーは、事業所で入力した介護計画をスマホで確認し、訪問当日サービス内容に基づく仕事の終了後、簡単な画面操作で介護記録が事業所へ送信されます。事務担当は、計画と実践データの突合を管理するだけで煩雑作業から解放され、大幅に負担が軽減されます。

ヘルパー業務の大変さ

介護保険受給ご利用者様の担当ケアマネージャーから依頼を受け、サービス提供責任者が介護度に応じてサービス内容とヘルパーを選定します。事前に双方で綿密な打ち合わせを行い、サービスを開始します。現在の仕事は、掃除・買い物・食事作りが主ですが、入浴介助のご依頼もあります。

ヘルパーの大変さは、仕事はもとより、後処理の書類作成作業にあります。今までは、ご利用者様宅での訪問内容を、「サービス利用確認書（3枚複写）」に記録し、ご利用者様宅と事業センター事務責任者へ提出していました。市内居住の約50人のご利用者様の記録を、毎日手書きで作成する手間と、月末集計の事務作業が極めて煩雑でした。

(ヘルパーは訪問都度、この様式に手書きで記入していました)



(IT化の進む事業所内の事務業務)



(ヘルパー個人の管理コードを入力し、作業計画を確認、作業後は完了の登録をします)

頑張るシニアヘルパー

高齢者介助・生活支援のご依頼は、これからもっと増えるに違いありません。世は、シニアがシニアを介護する時代です。当センターのシニアヘルパーは、IT進화에後れを取りません。



(スマホの操作は、慣れれば簡単です)

- ① 今までガラケーでしたが、これを機会に思い切つてスマホに替えました。
 - ② 仕事で使うので、脳トレと思って必死に覚ええました。
 - ③ やつてみたら、思ったより簡単でした。
 - ④ 手書きより、入力するほうがずっと簡単です。
 - ⑤ いちいち事業所へ報告に行かなくて良いので、時間の有効活用ができます。
 - ⑥ いつでも、どこでも入力報告ができるので生活にリズムができました。
- このように効用を唱えています。

新型コロナウイルスには万全の対策を実施

ご利用者様のお宅を訪問するヘルパーには、「うつらない・うつさない」対策が要求されます。マスク・消毒はもちろんのこと、仕事中は当センターが付与したフェイスシールドを着用し、万全を期しています。常にご利用者様の立場で感染防止に努めています。

また、訪問介護事業所では、毎月ヘルパー講習会を開催し、仕事での留意事項や、ヘルパー相互の意見交換が活発に行われています。現在の最大案件は、コロナ感染防止ですので、3密を避けながらセンター長による講習が行われ、ヘルパーの自覚を促しています。



(訪問介護職 講習会)



(フェイスシールドを試着し受講)



テレワークを実践

カナエルタッチシステムの導入により、ヘルパーの働き方に大きな変化が現れました。一例として直行直帰が可能となり、その結果、新型コロナウイルス感染防止のテレワークにつながっており効果は絶大です。

これからの介護事業

現在、国を挙げてICT(通信技術を活用したコミュニケーション)を積極的に推進しています。介護事業においては、コロナ禍でもインターネットの活用で、利用者と介護者の顔の見える「オンライン介護」や、事業所閉鎖で行き場を失った「介護難民」を、行政が地域の事業所を一括管理し、行政・事業所・ケアマネージャーらがネット上で検索して、利用者と受け入れ先を円滑に橋渡しするシステムが、一部地域ですでに実施されています。このように、これからもIT化の進歩により、介護方法は変化し、又、事業所の情報がインターネットで共有できる社会に変わって行くと考えられています

① 高齢者による高齢者介護の現状は、ますます深化するでしょう。当センターのシニアヘルパーは、時代を先取りし、自ら働き方を変えています。

IT技術を駆使した、これからの佐倉市シルバー人材センター訪問介護事業の大きな飛躍にご期待ください。

コロナを避け、昭和61年にタイムスリップ!?

3密を避け、コロナ感染を避けつつ活動する、新しい生活様式が求められている今、家庭でのしばしの時間を、昭和61年にタイムスリップしてみるのはいかがでしょうか。

time slip!?

昭和55年6月20日に、佐倉市社会福祉協議会の後援を得て、白井地区において任意団体である佐倉市高齢者の働く会が発足し、1年後の昭和56年10月1日に、この働く会を解消発展する形で、佐倉市シルバー人材センターが発足したとのこと。



昭和61年に発刊された

「五周年記念誌」を読みますと、センター創設時のご苦労と情熱が偲ばれます。「五周年記念誌」は、ホームページに掲載する予定です。ぜひご覧下さい。



五周年を省みて
事務局長・理事 高橋 鶴吉

歳月の流れは実に早い。社団法人佐倉市シルバー人材センター(高齢者事業団)(以下センターという)が創立されたのは、ついこの間のような感じが致しますが、昭和六一年二月一日をもって満五周年になります。

我が佐倉市は、老人福祉法に基づきまして、昭和五五年六月二〇日、佐倉市社会福祉協議会のご後援の下に、白井地区において、任意団体である佐倉市高齢者の働く会(以下働く会という)を発足させておりました。

会長に当時の白井老人クラブ会長故岡野金造氏が就任し、その成長が概ね順調であって、将来増々の発展が期待されることとなったので、翌五六年度からは、より大きな組織として、活動地域を佐倉市全域に拡げ、会長に立崎 浩氏が就任して、これを継続致しました。

昭和五六年五月七日、市長宛、千葉県商工労働部長の、職安第一七二号「高齢者労働能力活用事業の実施について(通知)」が出ました。この通知に基づきまして、それまでの任意団体である、働く会を解散し、これを吸収して、昭和五六年一月一日、センターを設立しました。

働く会の発足から通算しますと、昭和六一年一月一日で、六年四か月ということになります。働く会の発足に当って、私はお誘いをいただきまして会員になりました。この仕事が全く新しい試みのものであり、色々の戸惑いを感じましたが、私なりに努力もし工夫も致しまして、与えられた職責の遂行に努めました。

(五周年記念誌より抜粋)



おめでとうございます!!

田中 千俊会長が、長年に亘り当センターの発展に寄与し、功労があったとして全国シルバー人材センター事業協会(全国本部)より表彰され、表彰状が授与されました。

田中会長は、パソコン班の立ち上げ、訪問介護事業所の開設、その後、時代のニーズに合った事業運営に必要な「IT化の推進」に特に力を入れるなど、顕著な功績で代表理事・会長として活躍されています。

今後も一層健康に留意して頂き、ご活躍されることを願っております。

常務理事 田中 豊嗣

俳短柳同好会 短歌

水無月の雨に濁りし高崎川

コロナよ鎮まれと祈り居りたり

くもまよりしずくかがやくひかりさし

あじさいのときしらせくれたり

孫に会え娘に会えぬ横田さん

悔しさ胸に逝きてしまえり

強雨止み空晴れ渡る川はなお

濁り寄せ来て我飲まんとす

年毎に小さく成りたる百合の花

共に暮らせる妻を思えば

妹の形見となりしほおづきが

実をつけ揺れる五年目の夏

あなたから饒別の品文そえて

次にふみだす力となりぬ

あたたかき初春の午後列なせる

シヨスタコーヴィチの五番に並ぶ

横山 鈴子講師

新井 和子

岡田 典子

廣田 正明

中村 寛

漆原 幸二

越川 圭子

竹田 宗司

同好会

設立のご案内

同じ趣味の会員が10名集まると、「同好会」を設立する事ができます。地区や職群を超えた仲間、楽しい同好会設立は如何ですか。